

九州大学生協 九大生応援市



[健康と安全]

取り組み概要

日時：2024年12月6日18:00~
場所：伊都キャンパスビッグさんど
地下1F ビッグダイニング
参加者数：805人

背景や概要：JA糸島の女性部の皆さんがコロナ禍で他のJA内の活動を参考に、自由時間に野菜を集め、学生にもっていきこうとしたのが始まりです。現在では、野菜のほかにも日用品や生理用品の配布も行っています。

食を通して拡がる組合員と地域の交流

POINT.1

地域と学生の架け橋となる学生委員会



今年の応援市はJA糸島さんに加え、地域生協、唐津自動車学校さん、フードバンクさんなどと協力をして開催されました。食料品や日用品を配る際に、普段なかなか直接的な交流のない**大学生組合員と地域の方々**の会話が多くみられました。会話の他にも会場内にJA糸島の方々からの九大生へのメッセージを掲示し、配布の最後には、組合員にJA糸島さんへメッセージを書いてもらうスペースを設けることでさまざまな形で**組合員と地域の方々との対話の場**を作ることが出来ました。

POINT.2

食について考えるきっかけづくり

地域生協と協力し、待機列に並んでいる参加者を対象に「朝食について考える」をテーマに、温かいスープと朝食セットの配布を行いました。朝食セットは地域生協のパン、野菜ジュース、スープの3点で比較的簡単に食べられるものを選びました。朝食を食べない割合の多い大学生のために、朝食を食べる習慣をつけるきっかけを作りたいという**地域生協の想いを組合員に届ける**ことができました。



POINT.3

SNS発信や配布資料で食や地域に興味関心を！！



応援市当日までに学生委員会のSNSを用いて、応援市に協力して下さっているJA糸島さんについて発信しました。JA糸島さんが普段どのような活動をしているかや糸島という地域の特色、JA糸島さんの応援市に対する思いなどを組合員に知ってもらえる内容となりました。また、当日には参加者への配布資料としてSNS発信内容に加え、野菜収穫の様子や配布する野菜を用いたレシピを共有しました。参加者が応援市を最大限活用し、**地域のことについて身近に感じてもらえる企画**となりました。